

愛媛支部

ともに歩む三団体

愛媛では、年に数回、愛媛県聴覚障害者協会、愛媛県手話通訳問題研究会、愛媛県手話サークル連絡協議会が合同で行事を開催しています。

1月17日には毎年恒例の「三団体学習会」がありました。午前、全日本ろうあ連盟副理事長の長谷川芳弘氏の講演「手話言語条例を学ぼう」で、手話言語法や鳥取県の手話言語条例についてお話をうかがいました。午後はグループ討議「手話言語条例を考える」で、愛媛県では条例にどのような内容を盛り込んでほしいか話し合いました。



3月6日に行われた松山市の「耳の日のつどい」では、全国手話研修センター理事長の黒崎信幸氏をお迎えして三団体主催講演会「私の歩んできた道」を開催しました。会場では他にもたくさんの企画があり、聞こえない人の暮らしについていろいろな視点から学ぶことができました。

これからも、団体の枠を超えて多くの仲間と協力しながら歩いていきたいと思えます。

第26回耳の日記念集会開催

2月28日、県内外から200名を超える仲間が参加。久しぶりに見る顔、初めての顔、会場のあちこちでは手話の花が咲きました。

準備や対応にも慣れてきた模擬店。とさ通研は書籍とお弁当の販売を行いました。アトラクションでは恒例の高校生や大学生の手話ソングの披露。すっかりおなじみになった快演隊の爆笑手話パフォーマンス。今年も会場を沸かせてくれました。

講演は徳島県出身で現在愛知県在住の黒岩正宗（くろいわせいしゅう）氏「私からみたアメリカ文化・日本の鉄道」の2本立て。映像を駆使しながらリズムカルにそして力強い迫力と爆笑を巻き起こす手話表現の素晴らしさで、あっという間に時間が過ぎました。外国の暮らしを知ることで改めて日本を意識し、また鉄道について興味もぐんと湧いてきました。

新しい刺激を受け、明日から少し視点が変わってもっと飛躍できるようになりたいです。耳の日集会、最高でした。

高知支部

あさいと
結社

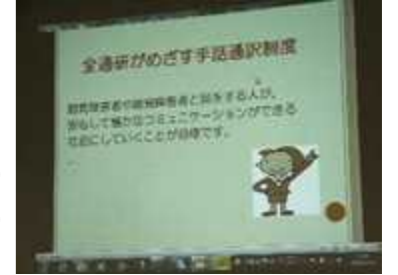


香・通・研 です(*^-^*)

香川支部

9月に徳島の戎さんをお招きし「めざパン学習会」を開催しましたが、今回は、前回の学習会をもとに様々な課題を出し合い、それに対する方策案も考えてみました。ほとんどの方策案は通訳者の正規職員化です。他県では、通訳者として正規職員の募集がありますが、香川は全くありません。現状の身分保障の弱さを皆で痛感し、解決には厳しい道のりが待っていることも見えました。私たち通訳者自身の問題、派遣元、ろう者…課題は尽きることなく出てきました。今後は、県の聴覚障害者協会と協議を重ねる予定です。

さて、いよいよ香川では「瀬戸内国際芸術祭」の開幕です。3年ごとの開催で今年は3回目です。ぜひ、皆さんもアートを体験してみてください。春・夏・秋の3期に分けて開かれるので、開期等については香川県のホームページをのぞいてくださいね♪



「手話言語法制定をめざす」学習会

2月6日（土）交流プラザ研修室において、聴覚障害者制度改革推進徳島本部主催で標記の学習会を開催しました。午前は、久松三二氏を迎えての基調講演で、かつてのろう学校では、手話「手真似」が禁止されていた学校生活を話すと、会場からも「そうだ。そう！」「チョークが飛んだ！」「隠れて手話をやった！」「バケツを持って立たされた」と手があがりました。参加者に合わせて話をしたので、わかりやすかったのではないかと思います。合理的配慮についてはさらなる学習が必要だと感じました。午後からは、寸劇で学ぶ「5つの権利」を聴覚障害者福祉協会理事が真面目に演じ、参加者には大うけで笑いが沸き起こりました。手話の5つの権利は、ろう者にとっての母語であることを示し、ろう者が社会の中で自由に手話でコミュニケーションがとれること、教育の場でも手話を導入して保護者にも正しい情報を得られるよう保障していくことにつながる。参加者も理事の演技によって理解ができたと思います。



徳島支部